



# みずほリース株式会社

業 種／金融業・保険業  
主な事業内容／リース事業、不動産・環境エネルギー事業、  
ファイナンス・投資事業、海外・航空機事業  
従 業 員 数／連結：1,864名(単体：784名)

## 備 蓄

「新しい働き方」への対応、女性や被災者への聞き取り調査に基づく備蓄内容の再検討

### ●フリーアドレス化に即して各所にヘルメットを配備

従来の災害対策は固定席を前提としていたが、コロナ禍で拡大したフリーアドレス化に即して、ミーティングブース・テレワークブース等、オフィスの各所にヘルメットを追加配備した。

また、社内のどこで罹災しても落ち着いて対応できるよう防災倉庫扉に写真付きの備蓄品一覧を掲示した。



オフィス各所にヘルメットを配備



コンパクトに折り畳みが可能なヘルメットを各所に配備



備蓄品一覧<防災倉庫掲示>

### ●多様性に配慮した備蓄品の整備

東日本大震災の被災者にインタビューして、備蓄内容を再検討した。寒さが厳しい時期でも3日間滞在できるよう、使い捨てカイロを取り入れた。また、寒さ対策にもなり、包帯代わりになることから、ラップを追加するとともに使い方をマニュアル化した備蓄品とあわせて保管している。

更に、女性役職員等の意見を踏まえ、罹災時の不快感低減策として衛生用品やメイク落とし等を追加、配布方法についても工夫し、多様性に配慮した取り組みを実施している。



発災時には女子トイレにおいて衛生用品を配備



社員向け防災備蓄品展示会

### ●フードロス対策

備蓄品の購入に際しては、廃棄ゼロを念頭に品目を選定し、食糧品については、消費期限到来前にフードバンクに寄贈することによりフードロスの削減に努めている。



フードロスゼロを念頭に備置

## 訓 練

リモートで実施できるよう Web コンテンツを作成し、確認テストも用意

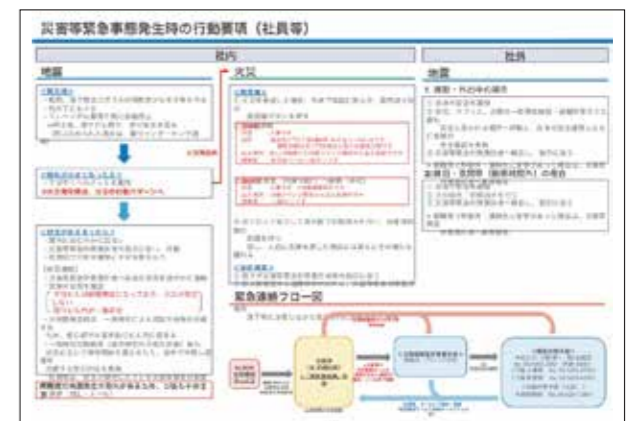
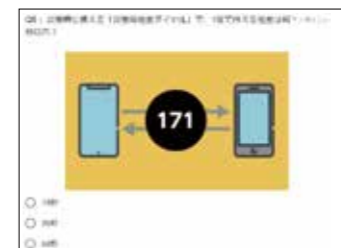
コロナ禍のため集合訓練が困難になったことから、Web コンテンツを用意し、在宅勤務でも学習できる体制を整えた。コンテンツには東京都作成の動画を活用し、セルフチェックができるように確認テストを実施した。

また、安否確認訓練では、実効性を高めるべく未返信者に対する原因調査の上、所要の対策を講じた結果、返信率はほぼ100%に達している。

更に、「災害等緊急事態発生時の行動要項」等について、個人のモバイル端末へのダウンロード保存を推奨し、勤務時間外の発災にも備えている。



在宅勤務を想定したWebコンテンツでの確認テスト



災害等緊急事態発生時の行動要項

## 周 知

### ●オフィス・コンシェルジュによる「防災特集号」の刊行

防災対策をより身近に感じてもらうために、オフィス・コンシェルジュをスタッフに加え、イラストを多用し平易な文章を用いた「防災特集号」を作成し、イントラネット上に掲載した。

アルファ米 4 種をコンシェルジュメンバーが試食した結果も掲載 (オフィス・コンシェルジュ通信 特別号<防災特集>)



## 滞在・外出 対 応

### ●従業員がオフィス内で実際に検証し、睡眠場所や人数を確定

本社地区に勤務する約 1,200 名の役職員が最小限のストレスで 72 時間留まるためには「快適な睡眠の確保」が重要であるため、実際にオフィス内で検証し「睡眠場所」と「各スペースでの収容可能人数」を確認した。更に下層階で睡眠をとりやすいスペースを救護室として指定した。

また、家族のために帰宅を希望する社員のために、帰宅抑制の前提条件となる「家族等との安否情報確認」ツールである災害用伝言板「web171」や災害用伝言サービス「171」の利用方法を、社内のイントラネット上に Q&A 形式でわかりやすく掲載している。



発災時に睡眠場所として利用できる場所を予め検証し特定